

# 食道静脈瘤硬化療法（初回）を受けられる\_\_\_\_\_様へ

福井赤十字病院 消化器内科

\* 食道および胃の静脈瘤に対し、破裂し出血している静脈瘤を止血する、あるいは未然に破裂および出血を防ぐために治療を行います。

	治療前日	治療当日（治療前）	治療当日（治療後）	1日目	2日目	3日目	4日目
日時	/	/	/	/	/	/	/
目標				・出血や痛みがなければ食事開始になります			・食事がつかえなく食べる事が出来、異常がなければ退院できます
検査 治療 処置	・入院まで飲まれていた飲み薬や外用薬をお出してください (医師の指示により休薬していただくことがあります)	・治療前より点滴をはじめます  ・硬化療法を行います	・治療後に抗生剤の点滴があります ・点滴は翌朝まで続きます ・治療後（2時間後・6時間後）に（アルロイドG）の内服があります ・心電図モニターと酸素投与を行います (治療後2時間)	・血液検査があります  ・抗生剤の点滴が朝、夕と点滴が3本あります (終了後は点滴の針を留置しておきます) ・内服薬（ラベプラゾール）が始まります ・水薬の内服（アルロイドG）が1日3回あります	・抗生剤の点滴が朝・夕と点滴が2本あります (終了後、点滴の針を抜きます) 		・何回か治療が必要な場合もあります
安静度			・治療後2時間は臥床安静です（ベッドアップ30度まで可能です） ・2時間後から治療後6時間まではベッド上安静です	・トイレ以外はできるだけ歩かないで、安静にしてください	・院内の歩行ができるようになりますが、症状に合わせて動いてください		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;">                     これらを 回 行いますので 退院予定日は  月 日です                 </div> 
食事	・肝臓食がでます	・1日絶飲絶食です		・昼から重湯です	・昼から5分粥です	・昼から全粥・肝臓食です	
排泄	・トイレでできます		・トイレの時は声をかけてください				
清潔				・ご希望があれば蒸タオルで身体を拭きます	・体に異常がなければ入浴できます		
観察	・入院時の状態を観察します ・入院迄の経過をお聞きします	・朝、検温をします	・治療後・1時間後・2時間後・6時間後、又症状に合わせて随時観察します	・朝、検温をします ・症状に合わせて随時観察します	・症状に合わせて随時観察します		
教育 指導				・薬剤師が薬について説明をします 	・管理栄養士が食事について説明をします	・看護師が退院後の生活について説明をします ・次回受診日の予約をしてお知らせします 月 日（ 曜日） 時 分	
その他	・主治医が治療の説明をします ・入院療養計画書、治療の同意書をお渡ししますので、署名の上お出してください	・以下のものを外してください □入れ歯 □時計 □指輪 □眼鏡 □ヘアピン □コンタクトレンズなど					・退院療養計画書をお渡ししますので、署名の上お出してください
説明者							

\* 状態に応じて治療を繰り返すことや予定が変わることもあります。

ご質問があれば遠慮なく看護師にお聞きください。

主治医（ ） 担当看護師（ ）

入院負担割合	3割	70歳以上(1割)	70歳以上(2割)	70歳以上(3割)
負担額	約120,000円	約60,000円	約60,000円	約120,000円

\* 入院費は概算ですので、診療内容・病状等により異なる場合があります。2022.4.18☆

## 食道静脈瘤硬化療法を受けられた\_\_\_\_\_様へ

\* 退院後は以下のことに注意してお過ごしください

1) 規則正しい生活をし、過労を避け、睡眠を十分とりましょう。又、うがいや手洗いをし、感染の予防につとめましょう。



2) 腹圧のかかる動作を避けましょう。

重いものを持ち上げる・1度に多くのものを食べる・排便時の強いいきみ・腹部に力をいれる運動などは避けましょう。

3) 禁酒・禁煙でいきましょう。



4) 食事はゆっくりとよく噛んで食べましょう。

硬いものはなるべく避ける。食べる時はよく噛んで口の中ですりつぶしたような状態にしてのみこみましょう。

熱いもの・香辛料の強いもの・酸っぱいもの・海藻類・カフェインを含んだもの（コーヒー・チョコレート・紅茶・コーラなど）は避けましょう。

インスタントラーメン・スナック菓子・缶やペットボトルのジュース類・古くなった油・塩分の多いものは避けましょう。

脂肪を少なめにし、新鮮な旬の野菜や果物を食べ、ビタミンの補給をしましょう。

(食べ過ぎには注意してください)



5) つかえ感のあるときは、1度に多くを飲み込まず、よく噛んで少しずつにしましょう。

柔らかく調理したものをゆっくり少しずつ食べましょう。

つかえた時は無理やり吐かないようにしましょう。

つかえて食べられないときは受診しましょう。

6) 薬は用法・用量を守り、正しく飲みましょう。自分の判断で服薬を中止しないようにしましょう。

他の薬を飲む場合は必ず医師に相談しましょう。

7) 定期受診は必ずしましょう。

8) 便秘を予防し、排便時には便の色を観察していきましょう。

血便・黒色便・赤黒い便が出た時や、血の混じったものを吐いた時はすぐ受診しましょう。



9) 以下のような時は受診日でなくても受診しましょう。又、緊急時には、病院に電話連絡をしてください。

吐き気・腹痛がある、食欲がない、大きな内出血が出来た、傷の出血が止まらない、吐血、下血、お腹がはる、むくみが出てきた、体重が増えた、黄疸、発熱、手が震える、意識がはっきりしない、行動がいつもと違うなど。

